

令和 7 年度 共同生活支援センターどんぐり地域連携推進会議報告

日 時： 令和8年3月3日(火)16:30～17:30

会 場： グループホームゆず(見学)

郡家コミュニティセンター(会議)

参加者： 別紙参照

○グループホーム見学(16:30－16:45)

施設の見学を行い、共有スペースや居室等の様子を見学した。

居室については、利用者の意向を確認し、了承を得られた利用者の居室のみ見学を行った。見学の際には、利用者がそれぞれ落ち着いて自分のペースで過ごせている様子が見られた。

○地域連携推進会議(16:50－17:30)

1. 開会あいさつ

責任者より開会の挨拶があり、グループホームの基本方針や支援内容等について説明があった。

利用者の生活の様子を地域の方々や関係機関に知っていただくとともに、意見交換を通して地域との連携を深めてきたいとの話があった。

2. 出席者紹介

・出席者の皆さんの自己紹介

3. 事業所紹介

資料を使用し、ゆずの施設概要や利用者の生活の様子、日常生活における支援内容について説明。

- ・グループホームの役割

利用者が地域の中で自分らしく生活できるよう、日常生活の支援や相談支援を行いながら、地域との関わりを大切にして支援を行っているとの話があった。

- ・行事の様子など

グループホームで行っている年間行事や日常の活動について説明を行う。主な行事として、花火、クリスマス会、ひな祭り、節分、誕生日会、避難訓練等を実施。行事の際には献立にも取り入れ、季節を感じながら食事や行事を楽しむことができるよう工夫をしていることを紹介。また、行事を通して利用者同士の交流の機会を作り、日常生活の中で楽しみを持って過ごすことができるよう取り組んでいると説明を行う。

4. ご質問や意見交換

- ・見学時の様子について

出席者からは、「とてもきれいなグループホームである」「利用者一人ひとりが大切に生活されている様子が伝わる」といった感想が聞かれた。

- ・利用者代表より

グループホームでの生活について、安心して自室で食事ができることが挙げられた。一方で、お風呂が一番風呂ではないことが残念という意見もあった。これまでの経緯から現在は最後の入浴となっていることについて、支援者から補足説明を行う。

- ・保護者代表より

「落ち着いた生活が送れているように思う」との意見あった。

- ・地区区長より

地域にあることは知っていたが、広報配布程度のつながりしかなかった。地域の行事などに参加してもらえよう、情報共有していけるのではないかと地区の行事の案内をいただいた。

→ 休日も多く利用者がいるため、毎回行事に参加することは難しい。しかし、個別にヘルパーさんを利用したり、残っている利用者さんが少なかったりしたときはできるだけ参加していきたい。

・町議会議員より

何かあれば声をかけてください。

・市町村関係者より

他のグループホームは中に入ったことがあったが、初めてゆずに入った。

住民票が大野町の方もいるので、今後も情報共有など関わっていきたい。

→ 実施にゆずに住民票を置いている人は現在1名のみ。

住民登録としては『いない』状態の利用者について、災害時に対応できる方法について相談していきたいと思っている。

・有識者より

集団生活ではルールや約束が必要である一方、窮屈さを感じることもあるとの意見があった。また、利用者からの相談はどこで行っているのかと質問があり、日常の関わりの中で声掛けを行いながら話を聞くことを大切にしていることを説明した。

さらに、対面では言いにくい意見もあるため、アンケートの活用も大切であることや、農作業等地域との関わり、地域イベントへの参加を通して交流を広げていくことの重要性について意見交換が行われた。

5. 閉会挨拶

今回の会議を通して、グループホームの生活の様子や支援内容について理解を深めいただく機会となった。今後も地域とのつながりを大切にしながら、関係機関と連携し、利用者が安心して生活を送ることができるよう支援を行っていく旨の挨拶があり、これをもって閉会となった。